

クラウドファンディング『ぴっぱら小屋プロジェクト』 にご協力いただいた皆さまへ



おかげさまで、新しい建物『小屋ちゃん』が完成しました

7月からようやく使えるようになった新園舎。それまでの拠点、納屋ちゃんから、こども達と椅子などを運びながら少しずつ引っ越しをしました。「水が出る!!!」こども達のその感嘆の声に笑いながら、実は私達大人が、毎日の水運びのしごとから解放される!有難い!となんともいえない喜びと感謝の気持ちが溢れました。トイレもすぐそばにあり、こどもが一人でトイレに行けるようになったのも有難いことです。入り口の構造から、道路に出て行く心配もなくなり、安心してこども達全体を観られるようになったことは、スタッフの緊張をまた一つ和らげてもらえるようになりました。感謝、感謝です。

ずっと廃材などを使いながら継ぎ足し継ぎ足しで工夫しながら「ぴっぱら小屋」「納屋ちゃん」で過ごしてきた私達は「新しい」「ピカピカ」ということになんとか居心地の悪さを感じてしまいます。単なるへそ曲がりなのかもしれません。そんな私達に新しい建物のネーミングはこの新しい建物とお付き合いして行くためには大事な一歩でした。「新ぴっぱら小屋」「新園舎」・・・そして誰が言い始めたのか今となってはわかりませんが、いつか「小屋ちゃん」と呼ばれるようになり、それがなんだかしっくりするなあと「小屋ちゃん」にどんどん愛着が湧いて行きました。11月に入り薪ストーブをたくようになり、あっという間に暖かくなることに感動し、また火を焚く頻度も少なくなりました。小屋の中の環境作りは、まだまだ発展途中で修正しながらの日々です。

沢山の方々のご寄付や励ましの声を頂き、ようやく出来上がった「小屋ちゃん」。本当に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。ぴっぱらが始めて、丁度10年の記念すべき年でした。この新しい建物と共にまた新しい歴史が積み重なって行くのだと感慨深い気持ちになっております。

早く皆さんに見ていただきたいと思いながら時間が過ぎていきました。本来なら多くの方に集まっていただきお披露目会をするところですが、コロナ禍のため来年以降に延期とさせて頂きました。本当に残念ですが、この通信やSNSで、少しでも知って頂ければと思います。

又、小屋ちゃんのカベには、こども達、親達が絵具で描いた45cm四方の板絵を外壁に貼って行く作業をしております。どうぞ見学にいらして下さい。ご連絡をお待ちしております。多くの皆さんの御協力の元に完成した「小屋ちゃん」とこども達が歓迎致します。本当にありがとうございました。

森のようちえんぴっぱら代表 松下理香子



テラスの柱はぴっぱら小屋の柱を使っています



裏の大きな木の葉の隙間を覗けるように外す

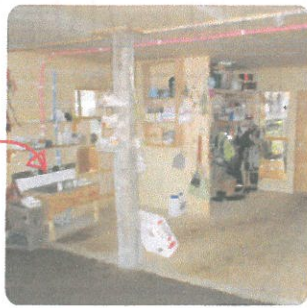


板絵はこれからどんどん増やしていきます

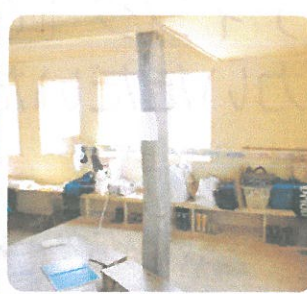


2Fの大きな窓からは大雪山がみられます

正面玄関を入ってすぐには手洗い場もあります



頂いたシンクを改造しました



1階の4本の柱は全て古材を使用しました



これが小屋ちゃん自慢の土間です



札幌の方より送っていただいた手洗いの



頂いたシンクを改造しました



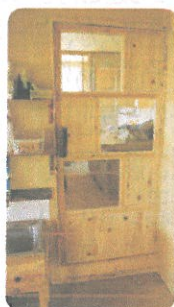
タニに向けて焚き付けを積み上げました



調理場は『びっばら小屋』でつかわれていたガラスに囲まれています



正面玄関です



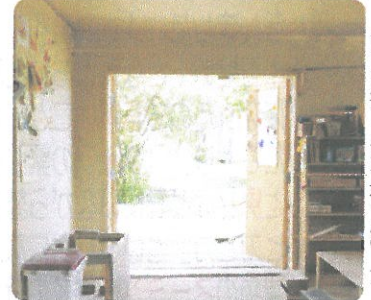
調理場のドア



トイレのドア(扉はすべて手作りです)



トイレは稚内からやってきたバイオトイレです



外と小屋ちゃんをつなぐ広いドア



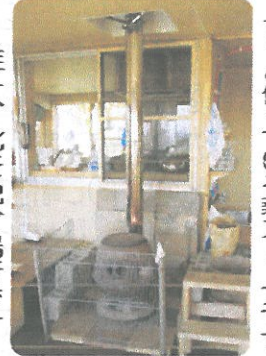
おやつを作ったり調理をしたりする薪ストーブです



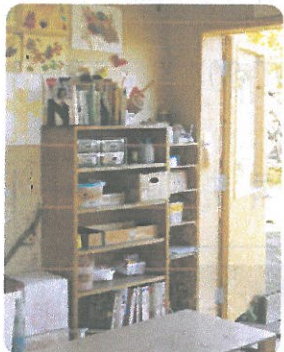
1Fの薪ストーブの煙突は2Fも温めて外へ出ます



唯一、靴を脱ぐ場所です



ずっと使っている薪ストーブです



2Fの吹き抜けから見降ろしました



冷蔵庫も洗濯機も卒園した方からいただきました



外壁に貼られた板絵です

幼児教育無償化、認可の件について

おかげさまで、森のようちえんびっばらは、昨年「認可外保育施設」となり、「幼児教育の無償化」の対象となりました。しかし、共働きの家庭のみの対象であり、全ての家庭が対象となるわけではありません。又、認可外施設であるため、運営に関する公的支援はなく、経済的に厳しい状況は以前として変わっていません。今後は、何がしかの支援を得られるよう認可を受けられるように様々な活動をしていきたいと思っています。今後ともびっばらの活動を見守り、応援していただきますようよろしくお願いいたします。

※YouTubeでびっばらの小屋ちゃんの紹介動画をUPしております。『びっばら 小屋ちゃん紹介動画』と検索して、ご覧ください



10年前のメンバー、今は高2の
小野しょうた作「ロボット」も



りょうま作「コンボイ司令官」も



ある日ぴっばらで

りかこ

「芸術は爆発だ!!」最近のこども達を見ていると、このコトバを叫びたくなります。こども達は何かを作ること
に日々情熱を注いでいます。折り紙、木、土、何でも使って自分なりのイメージするものを作って行きます。うまく
できなくて、すねたり、泣いたり、だれかに不満をぶつけたり、一方で、うまくいった時の満足気な顔、どちらも一
生懸命やっているからこそ辿り着く瞬間です。小さい頃は「作って作って」とせがんでいた子も、段々と自分で何か
を作るようになります。大きい子が作っているのを見たり、大人が作っているのを見ながら、いつの間にか自分流に
やってみようという気になるんですね。

小屋ちゃんの壁に貼る板絵に続き、「ある日ぴっばらで」の作品作りと、楽しいことが続きました。毎日、自然の
中で過ごしているこども達は、空、木、葉っぱ、花、風、雨、空... 様々な色や匂い、雰囲気を感じていま
す。目には見えないけれど、**只山**のコトを自分の中に一杯溜めていて、自然発生的に、その溜めたものを表現したく
なるような気がします。「ある日ぴっばらで」は、日常どこにでも転がっているモノがちょっと手を加えることで命が
吹き込まれて「えっ、なんだこれ?」と面白くなる、そういう感覚になってみると、どんどん自然の中で面白いこと
が一杯起こる... そんなことも味わってほしくての**初企画**でした。皆さん、いかがでしたか?

幼児期にしか描けない絵などの作品はかけがえのない宝物です。親にとっては、一生傍に置いておきたい愛すべき
モノ。小さな芸術家達に触発されて、大人も一杯楽しんでみましょう。実は私、小学生の頃は何をやっても時間内
にできずに図工の時間が**苦痛**でした。ゆっくり考えたり、ゆっくりやらないと自分の思った通りのものが仕上がらな
くて、いつも先生に「遅いからダメ、おしまい」と云われ、ひどい**評価**でした。ずっと自分はできない子だと思って
大きくなりました。母はそんな私に「りかこの絵はすぐわかるよ、それが個性というものだから、時間通りにできな
くてもいいの」と言われ「へーそうか」と、時間内にできなくて点数が悪くてもしょうがないかと変にあきらめたの
を覚えています。

時間や**評価**を気にせず、自分の思った通りに**表現**してみることに、衝動に駆られて何かを作り出すこと。思い通りに
ならず苦戦し、ふさぎ込んだり、再チャレンジして自分の気持ちを満たして行くこと、それを積み重ねながら、作
ることを介して自信をつけたり、挑戦し満たされて行く。それを繰り返しながら、こどもも大人も自分の中の魂を温
めていってほしいなあと思います。これからの**季節**は、手しごとがまた一段としくなりますね。さーて、またみんな
などんなものを作りだして行くのかな? **楽しみ、楽しみ。**

おやつはカボチャだんご



なっつく「ダイヤモンドカーテン」



ともしご紹介!「これはなんのえでしょーか!」



オトジロウ作 カップ



千景と空輝「りんごのまじり」



こすえちゃん作!!



おとしろう作 ライオンだどー!



まりちゃん作



むぎ&さおりちゃん作
「ケータイ電話と写真とスヌーピーのリース」



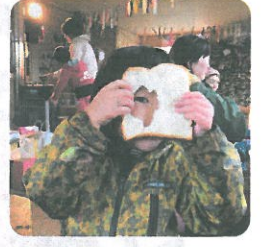
しゆり作 しゆりーす



りょうま作「みおちゃん」



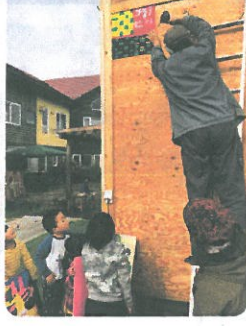
みんなの壁画も飾ったよ



おさかなアート?
なんというタイミング!
伊林さんがこまいをくれました



壁に板絵を貼りました 記念すべき瞬間!!



なっつ&まりちゃん作「あー!」



家族の木 めい作

てるちか作「いぬ?うま?」



みゆ+のり作「だいらちゃん」



てるちか作 ワニ



椅子にも色をぬりました



椅子にも色塗ったよ



こうへい作 板絵デス



ゆめこはあめ屋さん! OPEN!



まりちゃん作!



ゆめこ作「ジャクソン5!」



りかこ&ともし作「ライオン」動物園?



壁に絵をはってくよー



作品の写真、名前の紹介が漏れています。この他にも素敵な写真がいっぱいありました。ここに載せられなかった皆さんごめんなさい。そして、ありがとう